

# SSH軸教育連携協定

## 山形大農学部と酒田東高

山形大農学部（鶴岡市、村山秀樹学部長）と酒田東高（酒田市、大山慎一校長）は22日、教育連携に関する協定を締結した。同校のスーパーサイエンスハイスクール（SSH）事業を軸に、大学レベルの教育研究に触

れる機会を生徒に提供し、科学技術系人材の育成を目指す。

大学の施設・設備の利用や教員の出張講義などを通じて、同校の探究型学習の活性化を図る。農学・科学に対する生徒の関心を高めるとともに、地元高校から同学部への進学率、同学部から地元への就職率の向上につなげていく。

留学生との国際交流など、生徒の学習活動のため両者はこれまでも協力してきた。同校が本年度、文部科学省のSSH指定を受けたことを機に連携を強化した。SSHに関する

協定書にサインを交わした（左から）村山秀樹学部長と大山慎一校長



鶴岡市・山形大農学部  
同学部と高校の連携は今回が初。

締結式が同学部であり、村山学部長は「地球規模での食料・環境・エネルギー問題に取り組む農学の魅力を伝えたい」と期待を込めた。大山校長は地域と世界

をフィールドにする同学部の研究に触れ「計り知れない意義と可能性を与えてくれる」と展望。科学に関心のある他校生を巻き込んだ事業にも取り組む考えを示した。

（三浦光晴）